

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野 ・ 統合分野

科目名	基礎看護学概論	学年	①年 ・ 2年
担当者名	斉藤 ゆかり	時間数	30 時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	看護の基礎となる主要概念を理解し、各看護学に共通する看護行為の基礎となる知識、技術、態度を学び、看護専門職としてのアイデンティティを形成していく基礎的能力を養う。看護とは何かを考えることで、専門基礎分野での各領域への導入となり、個々の看護観を深めることができる。		
授業計画	<p>1回目 看護とはなにか <ナイチンゲールと看護></p> <p>2回目 看護の主要概念(1)</p> <p>3回目 看護の主要概念(2)</p> <p>4回目 実践に活かす看護理論(1)</p> <p>5回目 実践に活かす看護理論(2) GW</p> <p>6回目 実践に活かす看護理論(3) GW</p> <p>7回目 実践に活かす看護理論(4) GW(発表)</p> <p>8回目 看護の役割と機能 看護の対象の理解</p> <p>9回目 健康状態と生活</p> <p>10回目 職業としての看護</p> <p>11回目 看護職者の継続教育とキャリア開発</p> <p>12回目 看護の提供のしくみ</p> <p>13回目 国際看護</p> <p>14回目 災害看護</p> <p>15回目 終講テスト</p>		
教科書 及び 参考書	<p><教科書> 茂野香おる他:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1]看護学概論,第17版,医学書院,2023. 城ヶ端初子編:新訂版 実践に活かす看護理論19,株式会社サイオ出版,2020.</p> <p><参考書> マージョリー・ゴードン著:ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン,照林社,2018. フロレンス・ナイチンゲール著,薄井担子・小玉香津子訳:看護覚え書き,現代社,2017. ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯楨ます・小玉香津子訳:看護の基本となるもの,日本看護協会出版会,2021.</p>		
成績評価の 方法	ペーパー試験(70%) 出席等授業態度、グループワーク、課題レポート(30%)		
受講者への メッセージ	<p>看護の基礎となる科目です。たくさんの理論家のテキストを読み、看護とは何なのか、自身が考える看護について理論に基づいて明確となるよう学びを深めて下さい。そのためにGWを多く取り入れています。活発な意見交換が行われることを期待します。</p> <p>看護の「実践」と「理論」は表裏一体の関係です。理論について学んだことは今後の実習、看護研究にも役立ちます。</p>		
履修上の 注意	たくさんの内容を30時間に凝縮して講義、演習を行います。予習、復習は必ず行ってください。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 専門分野Ⅰ ・ 専門分野Ⅱ ・ 統合分野

科目名	在宅看護論方法論Ⅱ	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	高橋弥寸子	単位数	1 単位 30 時間
クラス	A 組 ・ B 組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	生活者としての在宅療養者がどのように療養しているのかをイメージでき、看護を展開するうえでのアセスメントや支援の方法について学ぶ。		
授業計画	<p>1回目 在宅での看護過程展開のポイント</p> <p>2回目 情報収集とアセスメント</p> <p>3回目 目標の設定・看護計画立案</p> <p>4回目 在宅事例看護演習</p> <p>5回目 在宅事例看護過程展開 発表・まとめ</p> <p>6回目 療養上のリスクマネジメント</p> <p>7回目 在宅における権利保障</p> <p>8回目 在宅ケアとケアマネジメント</p> <p>9回目 在宅ケアにおける関連機関・関係職種と連携・協働</p> <p>10回目 地域ケアシステム</p> <p>11回目 在宅ケアシステムの実際</p> <p>12回目 地域包括ケアシステムと在宅ケア</p> <p>13回目 在宅ケアと危機管理</p> <p>14回目 まとめ</p> <p>15回目 終講試験</p>		
教科書 及び 参考書	系統学看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤,医学書院,第6版,2023. 系統学看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践,医学書院,第6版,2023.		
成績評価の方法	出席状況、グループワーク、終講試験の成績を合わせて、総合的に評価する。		
受講者へのメッセージ	グループワークを多数回行います。積極的に意見を述べていきましょう。		
履修上の注意	期間が長いので、前回のことを忘れがちです。配布物、課題などは忘れないようにしてください。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ **専門分野** ・ 統合分野

科目名	精神看護学方法論Ⅱ	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	寄鍵 恵子	単位数	1/2 単位 15 時間
クラス	A 組 ・ B 組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	精神の健康障害にみられる特徴と障害に応じた日常生活行動に対する援助を学び、精神科における看護過程を習得する		
授業計画	<p>1回目 精神看護の基礎知識の確認</p> <p>精神看護における看護過程のポイント</p> <p>看護過程の展開(事例配布)</p> <p>看護過程の展開(フェイスシート、治療薬一覧表)</p> <p>2回目 看護過程の展開(フェイスシート、治療薬一覧表)</p> <p>3回目 看護過程の展開(情報収集の視点、アセスメントシート)</p> <p>4回目 看護過程の展開(アセスメントシート)</p> <p>5回目 看護過程の展開(看護計画)</p> <p>6回目 看護過程の展開(ケアプラン、評価)</p> <p>7回目 プロセスレコード</p> <p>8回目 終講試験</p>		
教科書 及び 参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学(1)精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学(2)精神看護の展開 医学書院		
成績評価の方法	出席状況、学習態度、終講試験		
受講者へのメッセージ	精神疾患患者の理解を深めておいて下さい		
履修上の注意	あらかじめ教科書に目を通し、グループワークで必要な学習をしておきましょう		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ **専門分野** ・ 統合分野

科目名	看護過程	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年																														
担当者名	中栄 未喜	単位数	1単位 30時間																														
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	曜日 講時																														
授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の基本となる考え方、看護過程と看護理論の関係が理解できる 2. 看護過程の構成要素が理解できる看護過程の構成要素が理解できる 3. 看護過程の基盤となる考え方が理解できる 4. 看護過程の展開の方法が分かり、紙上事例を用いて、看護過程の展開ができる 5. 臨床判断の思考過程をについて理解できる 																																
授業計画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1回目</td> <td>オリエンテーション、看護技術・看護記録・看護過程とは・看護過程の構成要素</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2回目</td> <td>アセスメント: 情報収集・ゴードンの機能的健康パターン・アセスメントツール</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3回目</td> <td>アセスメント: 分析(分析の視点)、問題の統合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4回目</td> <td>診断: 看護診断とは NANDA-I、照合について</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5回目</td> <td>関連図とは、目標・期待される結果・成果、看護計画</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6回目</td> <td>看護介入の実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7回目</td> <td>臨床判断について ＜看護過程の展開＞</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8回目</td> <td>事例紹介・アセスメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9回目</td> <td>アセスメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10回目</td> <td>仮診断・照合・結果</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11回目</td> <td>診断: 分析、照合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12回目</td> <td>関連図</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13回目</td> <td>目標・期待される結果・成果、看護計画</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14回目</td> <td>看護介入の実施・データベース・評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15回目</td> <td>終講試験</td> </tr> </table>			1回目	オリエンテーション、看護技術・看護記録・看護過程とは・看護過程の構成要素	2回目	アセスメント: 情報収集・ゴードンの機能的健康パターン・アセスメントツール	3回目	アセスメント: 分析(分析の視点)、問題の統合	4回目	診断: 看護診断とは NANDA-I、照合について	5回目	関連図とは、目標・期待される結果・成果、看護計画	6回目	看護介入の実施	7回目	臨床判断について ＜看護過程の展開＞	8回目	事例紹介・アセスメント	9回目	アセスメント	10回目	仮診断・照合・結果	11回目	診断: 分析、照合	12回目	関連図	13回目	目標・期待される結果・成果、看護計画	14回目	看護介入の実施・データベース・評価	15回目	終講試験
1回目	オリエンテーション、看護技術・看護記録・看護過程とは・看護過程の構成要素																																
2回目	アセスメント: 情報収集・ゴードンの機能的健康パターン・アセスメントツール																																
3回目	アセスメント: 分析(分析の視点)、問題の統合																																
4回目	診断: 看護診断とは NANDA-I、照合について																																
5回目	関連図とは、目標・期待される結果・成果、看護計画																																
6回目	看護介入の実施																																
7回目	臨床判断について ＜看護過程の展開＞																																
8回目	事例紹介・アセスメント																																
9回目	アセスメント																																
10回目	仮診断・照合・結果																																
11回目	診断: 分析、照合																																
12回目	関連図																																
13回目	目標・期待される結果・成果、看護計画																																
14回目	看護介入の実施・データベース・評価																																
15回目	終講試験																																
教科書 及び 参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I 医学書院2021. 2. 永田明、石川ふみよ監修: 看護がみえるvol.4 看護過程の展開 第1版 メディックメディア 2020. 3. T.ヘザー・ハードマン(編集), 上鶴 重美(編集) NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023. 第11版 医学書院2021. 4. 黒江ゆり子監修: 看護診断ハンドブック 第12版、医学書院、2023. 5. マージョリー ゴードン著、江川 隆子(翻): ゴードン博士の看護診断アセスメント指針—よくわかる機能的健康パターン. 照林社.2020. 																																
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業三分の二で成績評価の対象とする。 2. 出席評価・授業態度 3. 筆記試験 4. 課題提出物 5. グループワーク・個人ワークの取り組み度 																																
受講者へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 准看護師教育において学習した内容を含みます。既習内容を復習してください。 2. 看護過程は、看護目的を達成するための重要な手段です。 3. 授業では、看護過程について理解して、事例展開をしてもらいます。事例展開では「書き方」にこだわるのではなく、「なぜそのように思考するのか」について理解してください。 4. 他の授業・臨地実習においても役立つように主体的に学習してください。 5. 課題の提出が、多くありますので提出期限は必ず遵守してください。 																																
履修上の注意	<p>授業進度により計画内容が変更になります。授業中の全てが評価の対象となります。また、臨地実習は、看護過程・看護技術の単位を修得した者に限り履修することができます。</p>																																

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 専門分野 ・ 統合分野

科目名	基礎看護援助論	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	天野雅代	単位数	1 単位 30 時間
クラス	A 組 ・ B 組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	看護過程やフィジカルアセスメント技術を活用して看護の対象を生活者として捉え、安全・安楽・自立を考えた援助方法を計画・実施できる能力を身につける。		
授業計画	<p>1回目 講義の進め方、事例説明、課題学習について</p> <p>2回目 グループワーク（分析まで）</p> <p>3回目 グループワーク 講義終了後、ファイル提出</p> <p>4回目 分析 教員指導</p> <p>5回目 グループワーク(照合、関連図)</p> <p>6回目 グループワーク 講義終了後、ファイル提出</p> <p>7回目 看護計画 教員指導</p> <p>8回目 看護計画修正</p> <p>9回目 ケアプラン実施 シュミレーター活用した演習</p> <p>10回目 ケアプラン実施 シュミレーター活用した演習</p> <p>11回目 SOAP</p> <p>12回目 学習支援講義 パンフレット作成</p> <p>13回目 パンフレットを使用しての演習</p> <p>14回目 評価・リフレクション</p> <p>15回目 終講試験</p>		
教科書 及び 参考書	系統看護学講座専門基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座専門基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえるvol.4看護過程の展開 メディックメディア NANDA-I 看護診断定義と分類 医学書院		
成績評価の 方法	筆記試験、授業態度(グループワーク・個人ワーク、演習などの取り組み) 提出物の内容、出席状況		
受講者への メッセージ	臨地実習や臨床で活用できる知識や技術となるように取り組んでください。 予習復習をし、臨んでください。 グループワークでは、リーダーシップ・メンバーシップを発揮しましょう。		
履修上の 注意	授業中のすべてが評価対象となります。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ **専門分野** ・ 統合分野

科目名	小児期にある人々	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	濱崎 恵里奈	単位数	1単位 30時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	
授業の目的	<p>少子超高齢社会を迎え、子どもを取り巻く環境は急速に変化している。変化する社会現象の中から、子どもの健康についての概念・小児看護の機能と役割を理解する。</p> <p>小児保健の動向・小児保健対策を学び、それらをふまえて子どもの成長発達や特徴を理解し、子どもとその家族に対する看護の特殊性(子どもの療養の場を含む)を理解する。</p>		
授業計画	<p>1回目 小児看護の対象、小児看護の目標と役割・変遷、子どもの権利</p> <p>2回目 小児と家族の諸統計、子どもと家族を取り巻く社会</p> <p>3回目 小児の成長・発達</p> <p>4回目 小児の成長・発達、小児看護に用いる理論</p> <p>5回目 乳児の養育・看護</p> <p>6回目 幼児の養育・看護</p> <p>7回目 学童の養育・看護</p> <p>8回目 思春期・青年期の看護</p> <p>9回目 小児のアセスメント</p> <p>10回目 小児のアセスメント(演習)</p> <p>11回目 病気・障害を持つ小児と家族の看護、入院中の子どもと家族の看護</p> <p>12回目 障害のある子どもと家族の看護</p> <p>13回目 在宅療養、災害時の子どもと家族の看護</p> <p>14回目 子どもの虐待と看護</p> <p>15回目 終講試験</p>		
教科書 及び 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 看護師国家試験WEB		
成績評価の方法	終講試験 小テスト 提出物 出席状況及び出席態度(演習、GWを含む)		
受講者へのメッセージ	身近な子どもを観察しながら小児について考えてみよう。		
履修上の注意	教科書をよく読んでおいてください。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野Ⅱ 統合分野

科目名	災害看護	学年	1年 ・ 2年 3年
担当者名	鱸 貴志	単位数	1単位 30時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	
授業の目的	<p>災害の各段階の特徴と、災害時の健康課題や看護ニーズ、看護職の役割、国内外の災害看護活動を理解できる。</p> <p>国際看護学では、国際活動での基盤となる考え方をふまえ、世界の人々の健康課題や国際看護活動について学び、国際協力を支える国際機関について理解できる。</p>		
授業計画	<p>1回目 災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって、災害看護学の導入、災害看護学オリエンテーション</p> <p>2回目 CSCATTT、災害看護と法律、災害サイクル、第3・5回GWのオリエンテーション</p> <p>3回目 災害と心のケア、GW:被災者特性(要配慮者、要支援者)に応じた看護の資料作成</p> <p>4回目 医療における災害対応の理解、急性期から復興期の災害対応の流れの理解(外部講師)</p> <p>5回目 GW:被災者特性(要配慮者、要支援者)に応じた看護の発表、第7・8回演習のオリエンテーション</p> <p>6回目 災害の医療マネジメントを知る、災害時の健康危機管理を知る(外部講師)</p> <p>7回目 優先順位と外傷診療、TTT 机上シミュレーション</p> <p>8回目 演習:EVAC+CHAIR、暖段箱ベッド、応急処置など</p> <p>9回目 演習:スタート法、PAD法、外傷の処置</p> <p>10回目 病院支援と受援もしくは避難所活動の机上シミュレーション①</p> <p>11回目 病院支援と受援もしくは避難所活動の机上シミュレーション②</p> <p>12回目 グループワーク:国際看護について発表資料作成</p> <p>13回目 グループワーク:国際看護について発表、まとめ</p> <p>14回目 災害に関するDVDを視聴後レポート</p> <p>15回目 終講試験</p>		
教科書及び参考書	<p>医学書院:系統別看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 2023 看護師国家試験(災害看護学・国際看護学)過去問題集(各自で購入したもの)</p>		
成績評価の方法	<p>授業への出席と参加度、質疑応答、授業ごとのレジメの提出、課題などの提出 パソコンやタブレット・アプリなどの使いこなし グループワークへの参加度と取り組み及びグループ発表 第7・8回演習、第14回DVD視聴後のレポート 終講試験 (50%)</p>		
受講者へのメッセージ	<p>災害看護学・国際看護学を学ぶことの意義を理解し、医療従事者として知っておくべき知識・技術を習得し臨床現場で役立ててほしい。</p>		
履修上の注意点	<p>災害看護は専任教員と外部講師が担当します。</p>		